

# 2020年度 新入社員育成研修





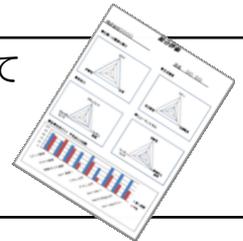
## 2020年度

# 新入社員育成研修全体のながれ

一人ひとりの社会人としてのスキル、IT技術者としてのスキル等を多面的に分析し、ご報告します。

講師・クラスマネージャーの2名体制で新入社員への指導・アドバイスを行うことにより、一人ひとりをしっかりフォローいたします。

打合せ	お客様との打合せを行い、研修内容を提示いたします。お客様からのご要望を承り、研修内容をご提案いたします。
研修の実施	経験豊かな講師陣が研修を実施することで、技術面・メンタル面の指導、アドバイスを効果的に行います。 また、研修カテゴリ単位での確認テストや発表を行うことで個人ごとの理解度を確認し、定期的に研修ご担当者様に報告いたします。 ゴールデンウィーク後を目処に研修前半の中間評価とフィードバックを行います。この際に後半の研修に対するご要望等をお伺いいたします。
個人別フィードバック	個人別に研修全体を通じた総合評価をレポートとしてご報告します。技術面・メンタル面だけでなく、日々の研修時に気付いた点などを総括的にご報告いたします。



- 新入社員研修の前後にも研修をご用意しております。

### -----新入社員の**入社前**に**内定者学習**

ご要望に応じて内定者様に対し、事前にSNSなどを活用した事前学習を提供します。

### -----新入社員**研修後**に**技術フォロー研修**

言語の試験対策など、より専門的内容を取り扱う研修を提供しています。



# 新入社員育成研修 スケジュール

使うことに長けている新入社員の皆さんに、作るためのコンピュータの仕組みを学んでいただきます。

2020/4/3（金）～5/29（金）合計37日間

日程	日数	コース名	概要
4/3（金）～4/7（火）	3	新入社員のための仕事の進め方 ヒアリング技術	社会人としての心構えや業務を効率よく進めるコツについて学びます。またMicrosoft Officeを用いてのビジネス文書作成や、ビジネスメールの書き方について学習します。そのほか、ただ「聞く」だけではなく、相手の課題を整理してニーズを引き出すための「聴く」技術について学びます。
4/8（水）～4/13（月）	4	IT基礎	IT業界で仕事をしていくために、知っておかなければならないコンピュータのしくみおよびシステムの基本、ネットワーク、セキュリティについて学びます。
4/14（火）～4/15（水）	2	アルゴリズム入門	ヴィジュアルツールを用いてコンピュータのしくみを学んだあとに、プログラムでそれら进行操作するための考え方を学びます。フローチャートも用いて変数、配列、順次実行、分岐、繰り返し等構造化の考え方のほか、集計、順次検索まで学びます。
4/16（木）～4/27（月）	8	Javaプログラミング～基礎～	Javaの基本文法について学びます。アルゴリズム入門の知識をもとに、開発環境を利用して構造化プログラミングを修得します。3日めにUML入門をとりいれ、オブジェクト指向プログラミング言語の基礎知識、有用なクラスライブラリ、例外処理、開発環境の使用法、設計手法と考え方を修得します。
4/28（火）	1	ストレス・コントロール	社会人としての円滑なコミュニケーションを図り、感情をコントロールする術を習得します。
4/30（木）～5/1（金）	2	データベース・SQL入門	データベースの特徴やデータベース管理システムの機能などの基本知識とリレーショナルデータベースの操作言語であるSQLの基本文法を学習します。また、実機を使用した表の操作から作成までのSQL文法を修得します。
5/7（木）	1	Javaプログラミング～JDBC～	JavaでJDBCを使用し、データベースなどのデータソースに接続してデータを取得する方法について学習します。
5/8（金）	1	Web技術	Webアプリケーションを開発するための技術であるWebサーバとクライアント間の通信の仕組み、Webページ構築、HTML/CSS/JavaScriptを取り扱います。
5/11（月）～5/14（木）	4	Javaプログラミング～Webアプリケーション～	JavaでWebアプリケーションを開発するための技術であるWebページ構築、サーブレット、JSPについて学習します。JavaServletおよび、JSPを取り扱います。
5/15（金）	1	システム開発入門	システム開発ワークショップを行うにあたり、システム開発の流れ、テスト手法、プロジェクト管理について学習します。テスト手法については、テストケースを洗い出す実習を行います。
5/18（月）～5/29（金）	10	システム開発ワークショップ	システム開発の疑似体験を行います。システム設計から構築、テストを行い、管理ドキュメントとともに納品します。講師は、受講者のプロジェクトの上司役と顧客の担当者の役割を兼ねます。また、最後に成果発表会として、作成したシステムとプロジェクトについて、また新入社員研修についての振り返りとまとめを行います。

コンピュータ、ネットワーク、セキュリティといった、IT/コンピュータサービスに携わるための基礎知識を習得し、そのコンピュータにどのように指示を出せばよいかをアルゴリズム入門やプログラミング言語研修で学びます。また、現在多くのサービスの基本となっている、データベースを含めたWebシステムを構築し、最後にそれまでの知識を組み合わせ、コミュニケーションをとりながら、ひとつのシステムを複数名で構築していきます。

※P7から詳細を紹介しています。ご参照ください。



# 2020年度 新入社員育成研修では

ITに初めて触れる新入社員が興味を持っていただくための体験と、自ら考えて取り組むカリキュラム

IT技術に初めて触れる新入社員様へ

## コンピュータ



最初の技術コースでは  
コンピュータの  
基本構造を学びます。

スマホやタブレットというブラックボックスの中に興味をもってもらい、その原理を修得します。情報処理の基本のほか、演習などを通じて、インターネットサービスやアプリを支えるしくみについて学びます。

ロールプレイや  
実機を使った演習

## セキュリティ ネットワーク

楽しくゲーム作成をしながら、コンピュータに指示を出す方法を学び、フローチャート図に起こしてプログラム文字列として作るための知識をつけます。



Scratchを使用したゲーム作成

フローチャートとプログラム作成導入

プログラミングです。  
研修に加えて書籍や  
インターネット、  
グループ演習を中心に  
調べ、納得と成功体験を  
積み上げます。

プログラムは調べながら

プログラム文法を学ぶことももちろん重要ですが、「調べたり質問することで自分で解決していく」行動パターンを身につけることが重要と考えます。

設計は、重要な開発工程のひとつです。オブジェクト指向と一緒に設計を学び、以降のシステム開発演習で使用し、身につけます。



設計

システム開発演習

学生から社会人になり、様々なストレスを抱えることとなります。

ストレスコントロール

研修を終え、業務に従事するなかで、責任と共に様々なストレスがかかる場合があります。それらにどう対処すれば良いか、また、感情をコントロールするためのスキルを身につけます。





# 新入社員研修で習得できる 実践力をつけるための2つのスキル

1日に、社会人に必要なビジネススキルと  
IT技術スキルの双方を身につけていただきます。

受講者の皆さんの日頃の様子や、社会人としての振る舞い、スキル修得など、期間中を通して担当する担任と、個々の技術に特化し、ITスキルを身につけていただくために研修を担当する講師、および運営の複数名体制で新入社員の皆さんをサポートします。

## 社会人スキル養成

- 9:00～ 9:30
- 17:00～17:30

研修の開始・終了のタイミングで  
社会人として身につけるべき3つ  
のスキルを中心に学びます。



期間中を通して  
受講者の皆さんをフォローし  
ます

## 技術スキル養成

- 9:30～17:00

コンピュータの基礎知識からプロ  
グラミング、プロジェクトでの開  
発まで、じっくり学習いたします。



技術をつけてもら  
うため、個々の内  
容を工夫し、研  
修を行います

# 実践力

お客様や上司、先輩と良好な  
関係を築くために、社会人として  
のマナーを身に付けます。

すべての研修期間を通じて、社  
会人に求められるマナーを習得  
できるよう講師が指導します。

マナー研修終了後も、毎日の講  
義開始前に、30分程度のマナー  
&プレゼンテーション演習を行いま  
す。

傾聴力を養い、相手の主張を  
読み取るスキルを身につけます。

コンピュータ、ネットワーク、情報  
セキュリティについての基礎知識  
を習得します。

習得した基礎知識をシステム開  
発や運用業務に活用できるスキ  
ルを習得します。

Javaを用いてプログラミングの基  
本からWebアプリケーションを作  
成する技術を習得します。

システム開発実践では、IT技術  
者として欠かせない論理的思考  
の大切さとプロジェクト管理の基  
本的な手法を習得します。



# 新入社員育成研修 研修概要 社会人スキル養成

社会人スキルの養成として、3つに重点を置いて新入社員を育成いたします。

■ ドキュメンテーション能力

■ プレゼンテーション能力

■ コミュニケーション能力

## 社会人スキルを養成するための具体策

### 日報の作成

文書作成能力、レビュー能力などのドキュメンテーション能力の向上を目的として日報を作成します。

#### ✓ 文書作成能力&レビュー技術の向上

ドキュメンテーション能力として、文章の表現方法や誤字脱字のない文書を作成するためのポイントや自己レビューの観点を習得します。

#### ✓ 提案力の向上

様々なビジネスシーンで必要となる提案力を身に付けるために日報に記載する内容を工夫してもらいます。例えば、今の自分に足りていない部分をどう補うべきか等を考えて記載します。

### 議事録の作成

システム開発ワークショップの期間中は、研修開始時と終了時に会議を行います。その際に、受講者で議事録を作成します。この議事録の作成は、以下の手順で行います。

#### ✓ ビジネス文書の作成能力を向上

「何を・誰が・いつまでに」を明確にした、会議に参加していない人にもわかる議事録を作成できるようになります。

#### ✓ ビジネス文書作成の効率化

議事録を効率よく作成するためのポイント（メモの取り方、フォーマットの作成など）を身に付けます。

### グループ討議

日々の研修終了時に当日の研修内容について以下の手順でグループ討議を行います。

#### ✓ 積極性の向上

グループによる相互補完を行うことにより、日々の課題を明確にし、主体的に取り組む積極性を養います。

#### ✓ 問題解決能力の向上

グループ内で把握した課題に対する検討を行うことで、問題解決能力の向上を目指します。

### 3分間スピーチ

より効果的なスピーチを行うために、以下の方法で実施します。

#### ✓ 要約力の向上

発表者はプレゼンテーションの内容をレジメシートに簡潔にまとめます。これにより、話の要点をまとめる能力を身に付けます。

#### ✓ 伝える力の向上

発表者は、レジメシートでまとめた内容を3分間で視聴者に理解してもらえるか考えて発表してもらいます。

#### ✓ 聞く力の向上

視聴者は、発表内容をききとりシートにまとめることで傾聴力・理解力を養います。

#### ✓ 課題の把握と対策

発表者へのフィードバックにより、ききとりシートを基に視聴者に内容が伝わっているかを発表者にフィードバックします。これにより、発表者自身のプレゼンテーションにおける課題を明確にし、次の3分間スピーチまでにその課題の対策を検討します。



# 新入社員育成研修 研修概要 技術スキル養成

SEとしてのヒアリングスキルや、コンピュータ、プログラム言語について学びます。

カレンダー

研修概要

4月度	日数
1	水
2	木
3	金 3
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水 4
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火 2
15	水
16	木 8
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月

コース名	新入社員の仕事の進め方	IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース
研修日数	1.5日間	
研修概要	社会人としての心構えや業務を効率よく進めるコツについて学びます。またMicrosoft Officeを用いてのビジネス文書作成や、ビジネスメールの書き方について学習します。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての基本的なマナーを身につけ、実践することができる</li> <li>・社会人として必要な文書作成技術を修得し、適切に使い分けすることができる</li> <li>・プレゼンテーションを作成し、適切に伝えたいことを伝えることができる</li> </ul>	
コース名	ヒアリング	IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース
研修日数	1.5日間	
研修概要	ただ「聞く」だけではなく、相手の課題を整理してニーズを引き出すための「聴く」技術について学びます。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の課題を読み取る技術を習得する</li> <li>・議論を効率よく進めるために必要な図解の技術を習得する</li> </ul>	
コース名	IT基礎	ITの基本技術修得のためのコース
研修日数	4日間	
研修概要	IT業界で仕事をしていくために、知っておかなければならないコンピュータのしくみおよびシステムの基本、ネットワーク、セキュリティについて学びます。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェア、ソフトウェア、システムについての語句の意味や仕組みを説明できる</li> <li>・インターネットのしくみやネットワーク・プロトコルと関連機器について説明できる</li> <li>・情報セキュリティの考え方を理解し、各社のポリシーにおける対策・行動の理由がわかる</li> </ul>	
コース名	アルゴリズム入門	専門的なプログラミング技術修得のためのコース
研修日数	2日間	
研修概要	ヴィジュアルツールを用いてコンピュータのしくみを学んだあとに、プログラムでそれら进行操作するための考え方を学びます。フローチャートも用いて変数、配列、順次実行、分岐、繰り返し等構造化の考え方のほか、集計、順次検索まで学びます。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータに対して指示を出す流れについて説明できる</li> <li>・構造化プログラミングについて説明できる</li> <li>・構造化の考え方の下、順次検索までのJISのフローチャート図が作成できる</li> </ul>	
コース名	Javaプログラミング基礎	専門的なプログラミング技術修得のためのコース
研修日数	8日間	
研修概要	Javaの基本文法、オブジェクト指向プログラミング言語の基礎知識、有用なクラスライブラリ、例外処理、開発環境の使用法、オブジェクト指向プログラミング言語の設計について学習します。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なアルゴリズムを使ってJavaのプログラムを作成することができる</li> <li>・クラス、インタフェースなどオブジェクト指向の特徴を取り入れたプログラムを作成することができる</li> <li>・APIドキュメントを見て、クラスやメソッド、例外を調べることができる</li> <li>・ユースケース図、クラス図、画面遷移図等の役割を理解し、これらを元にJavaのプログラムが作成できる</li> </ul>	



# 新入社員育成研修 研修概要 技術スキル養成

SEとしてのヒアリングスキルや、コンピュータ、プログラム言語について学びます。

カレンダー

研修概要

4月度	日数
28	火 1
29	水
30	木 2
5月度	日数
1	金
2	土
~	
6	水
7	木 1
8	金 1
9	土
10	日
11	月 4
12	火
13	水
14	木
15	金 1
16	土
17	日
18	月 10
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
26	月
27	火
27	水
28	木
29	金

コース名	ストレス・コントロール	IT業界での仕事を円滑に進めるためのコース
研修日数	1 日間	
研修概要	社会人としての円滑なコミュニケーションを図り、感情をコントロールする術を習得します。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を分析し、理解する。また、他者の理解への助けにする</li> <li>感情をコントロールし、怒る技術を身につける。</li> </ul>	
コース名	データベース・SQL入門	ITの基本技術修得のためのコース
研修日数	2 日間	
研修概要	データベースの特徴やDBMSの機能などの基本知識と操作言語であるSQLの基本文法を学習します。また、実機を使用した表の操作から作成までのSQL文法を修得します。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベース管理システムの概要を理解する</li> <li>基本的なSQL (DML/DDI) 文を使用してRDMSを操作できる</li> </ul>	
コース名	Javaプログラミング～JDBC～	専門的なプログラミング技術修得のためのコース
研修日数	1 日間	
研修概要	JDBCを使用し、データソースに接続してデータを取得・操作する方法について学習します。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>JDBC APIの特徴について説明でき、プログラムを作成できる</li> <li>プログラムと他システムの連携を理解できる</li> </ul>	
コース名	Web技術	ITの基本技術修得のためのコース
研修日数	1 日間	
研修概要	Webアプリケーションを開発するための技術であるWebサーバとクライアント間の通信の仕組み、Webページ構築、HTML/CSS/JavaScriptを取り扱います。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web 3 階層システムとサイトを構築し、クライアント/サーバ間での通信を理解する</li> <li>HTML/CSS、スクリプトを使用し、Webページを構築できる</li> </ul>	
コース名	Javaプログラミング～Webアプリケーション～	専門的なプログラミング技術修得のためのコース
研修日数	4 日間	
研修概要	JavaでWebアプリケーションを開発するための技術であるWebページ構築、サーブレット、JSPについて学習します。JavaServletおよび、JSPを取り扱います。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーブレット、JSPを使用した基本的なプログラムをMVCモデルに基づいて作成することができる</li> <li>セッション管理を用いたプログラムを作成することができる</li> </ul>	
コース名	システム開発入門	専門的なプログラミング技術修得のためのコース
研修日数	1 日間	
研修概要	システム開発ワークショップを行うにあたり、システム開発の流れ、テスト手法、プロジェクト管理について学習します。テスト手法については、テストケースを洗い出す実習を行います。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発の流れを理解する</li> <li>テスト手法（ブラックボックステスト、ホワイトボックステスト）について理解する</li> <li>プロジェクト管理の基本（QC/QD、スケジューリング、報連相）を理解する</li> </ul>	
コース名	システム開発ワークショップ/成果発表会	
研修日数	1 0 日間	
研修概要	システム開発の疑似体験を行います。システム設計から構築、テストを行い、管理ドキュメントとともに納品します。講師は、受講者のプロジェクトの上司役と顧客の担当者の役割を兼ねます。また、最後に成果発表会として、作成したシステムとプロジェクトについて、また新入社員研修についての振り返りとまとめを行います。	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト管理の重要性を理解し、実施できる</li> <li>システムの設計からテストまでの流れを理解し、実施できる</li> <li>システムの仕様を理解し、プレゼンテーションを行う</li> </ul>	



# 新入社員育成研修 研修価格のご案内 会場・ご連絡先のご案内

## ● 価格のご案内

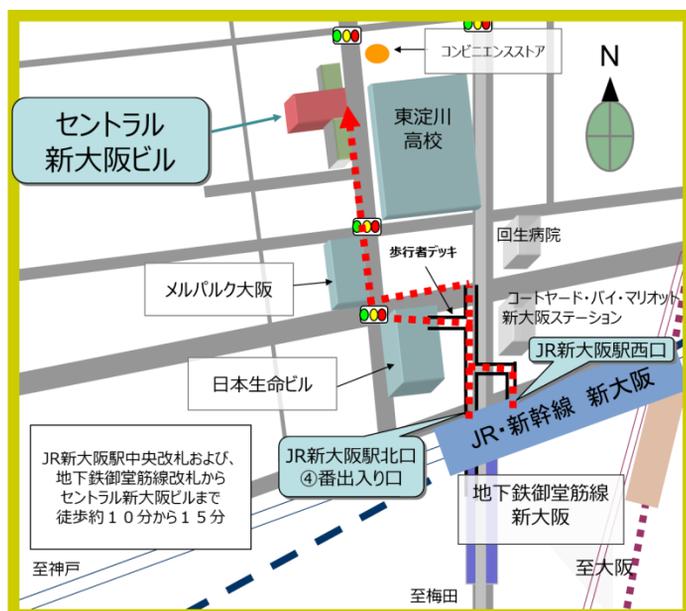
- 定価 - 1名様につき1日受講で20,000円（税抜）  
その他、研修内容や特別割引価格の詳細については、  
当社営業部までお問合せください。

各助成金（人材開発支援助成金等）  
利用も可能です

## ● 会場のご案内

大阪会場：  
情報システム監査（株）  
大阪本社

〒532-0003  
大阪府大阪市淀川区宮原  
4-5-36  
セントラル新大阪ビル6F



## ● ご連絡先のご案内



情報システム監査株式会社

営業部

大阪 TEL : 06-6395-7665 FAX : 06-6395-7666  
東京 TEL : 03-5783-8680 FAX : 03-5783-8679  
名古屋 TEL : 052-566-1238 FAX : 052-566-1238

E-mail : [isasales@isanet.co.jp](mailto:isasales@isanet.co.jp)  
WebSite : <http://www.isanet.co.jp/>



2020年度  
新入社員育成研修ご案内



**情報システム監査株式会社**